

## 7 T小学校における歯科保健教育の実践

平澤明美, 渡邊美幸, 小野真奈美

明倫短期大学 歯科衛生士学科

keywords : 歯みがき教室, 歯科保健教育, 歯科保健教育実習

### はじめに

本学では, 平成8年より新潟市立立仏小学校において臨地実習の一環として歯科保健教育を実施してきた。初年度より教室ごとに1～6年の全クラスで, 歯みがきの必要性和実技指導を中心に実施してきた。そこで, 実施後のアンケートにより日常の歯科保健行動と歯科保健教育の理解度を調査し, その効果と今後の課題を検討した。

### 対象および方法

対象者は平成20年7月7日294名, 平成21年6月30日289名, 平成22年6月10日281名の新潟市立立仏小学校3～6年に終了後アンケートを実施した。調査項目は, 1日の歯みがき回数と時期, 使用歯ブラシの状況や歯みがき実技の理解度等である。

### 結果および考察

1日の歯みがき回数が3回以上の者が平成20年では3年84.2%, 4年82.1%, 5年68.1%, 6年57.1%と学年が上がるに従い減少した。特に, 昼食後の歯みがきが実施されていなかった。平成21年でも6年57.4%で同様の傾向であった。しかし, 平成22年は5年79.7%, 6年83.9%となった。平成22年の「昼食後」の歯みがきが84.7%と習慣化して回数の増加に繋がった。また, 歯みがきの時間帯は「夕食後」37.7%と「寝る前」63.7%であり, 学年間には差はなかった。「朝起きてすぐ」7.5%の解答があったが, 朝食を欠食している可能性も考えられた。(図1)

6年はデンタルフロスの使用実技を取り入れている。「よくわかった」と解答したものが, 平成20年51.9%, 21年64.7%, 22年85.5%と理解度が上昇した。毎年の実習

終了後に養護教諭など小学校側からの意見を頂き, さらに実習生と指導教員との反省により, 次年度の改善点を確認してきたことが, 理解度の上昇に役立っている。(図2)

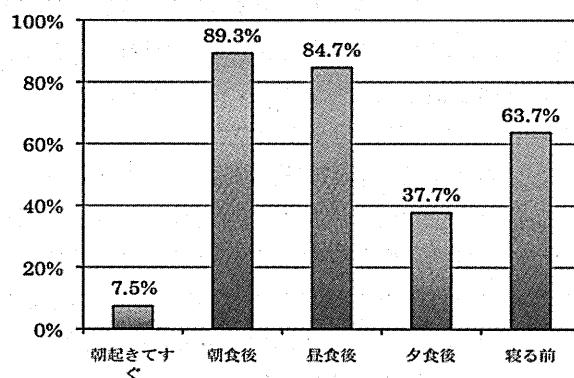


図1. いつ, 歯をみがきますか? 22年n=281

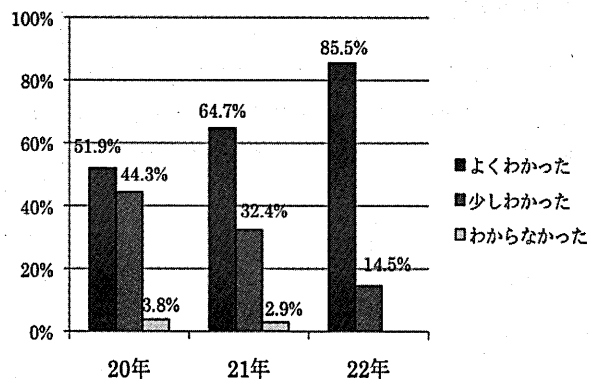


図2. フロスの使い方はわかりましたか?

### まとめ

本小学校における歯科保健教育は, 全学年での実施が良い歯科保健行動の定着に繋がっており, 将来の歯科保健行動に反映されるため, 今後も歯科保健教育実習の場として, 質を保証し内容の向上を目指したい。